

# 当科における BCG上部尿路灌流療法の長期成績

難治症例への臓器温存アプローチ

弘前大学大学院 医学研究科 泌尿器科学講座

米山高弘

## はじめに

- **膀胱の上皮内癌に対するBCG膀胱内注入療法は、既に確立された治療法である。**
- **しかし上部尿路の上皮内癌に対するBCG上部尿路灌流療法は、多くの報告はあるがその臨床的有用性、特に長期成績は十分な報告がない。**
- **BCG上部尿路灌流療法の有用性を検討するため、レトロスペクティブにその長期成績を検討した。**

適応症例；基本的には手術困難症例

- 両側発生症例
- 単腎症例
- 全身状態不良例
- 手術拒否例
  - BCG上部尿路灌流療法を希望した症例

# 対象

対象	BCG上部尿路灌流療法を施行した17例 (1997年12月～2008年7月)
性別	男性14例 女性3例
年齢	平均72.9才 (55~90)
観察期間	平均49.9ヶ月 (5-126)

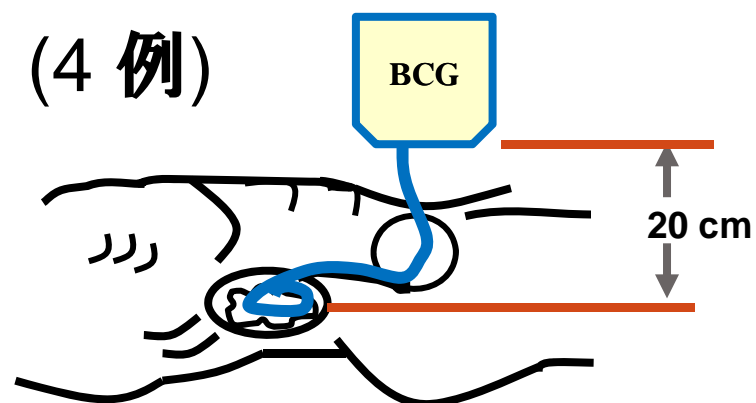
全尿路上皮内癌	7例
両側上部尿路上皮内癌	5例
片側上部尿路上皮内癌	5例

# 診断基準

- 2回連続分腎尿細胞診陽性
- 画像診断にて明らかな所見（－）
- 尿管鏡検査にて明らかな隆起性病変（－）

# 還流方法

- Double-J ステンント (12 例)
- 尿管カテーテル (1 例)
- 経皮経膀胱 single-J ステンント (4 例)



## 方法と効果判定

### ◆BCG使用量

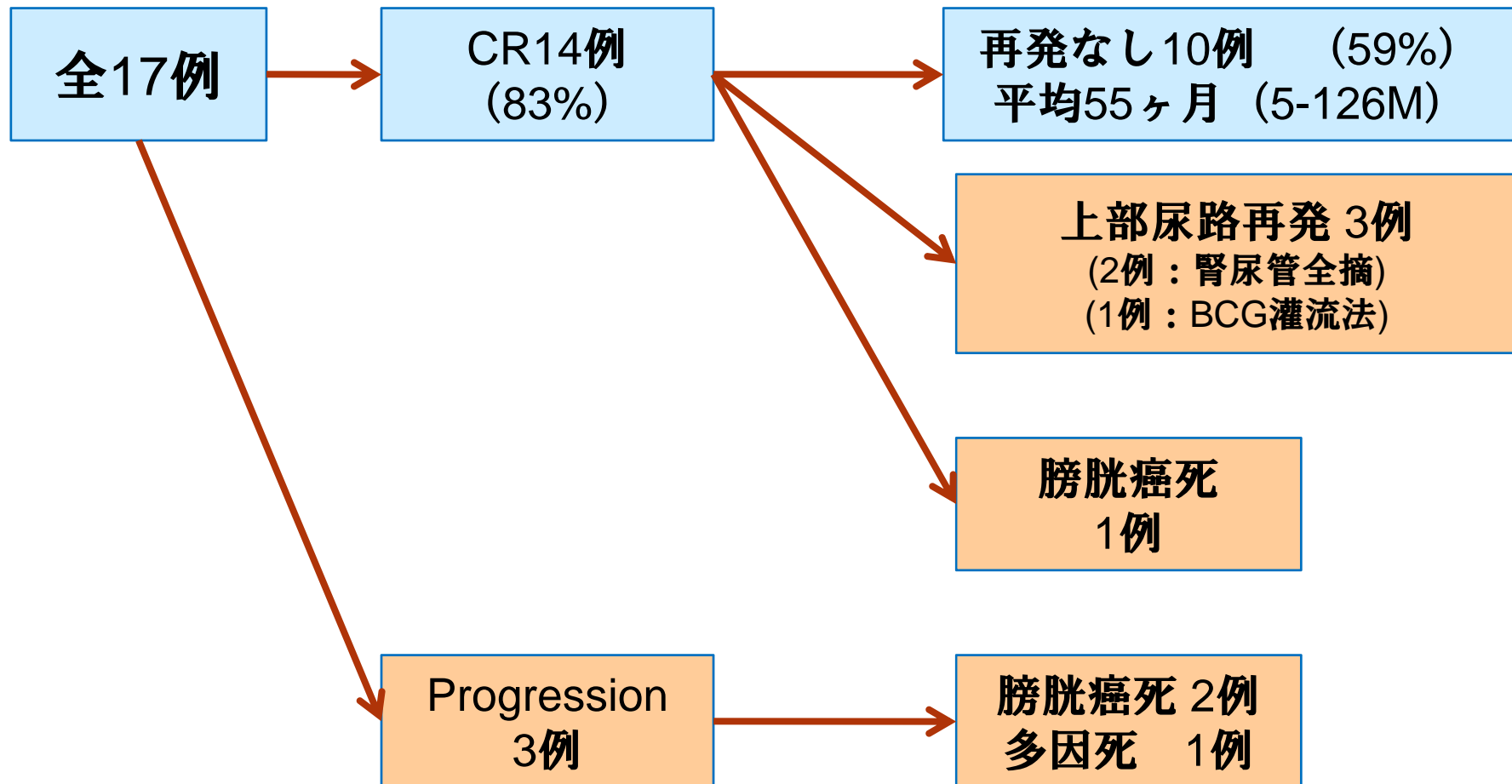
- 初期の4例は, BCG 80mg で灌流
- 以後の13例, BCG 40 mgで灌流

### ◆2時間で灌流し, 週1回, 計6週投与

### ◆尿細胞診2回連続陰性 CRと判定

CR; complete response

# 結果と予後



# 副作用

<b>総出現率</b>	16/17	(94.1%)
<b>膀胱刺激症状</b>	14/17	(82.4%)
<b>発熱</b>	5/17	(29.4%)
<b><u>腎結核様肉芽腫</u></b>	2/17	(11.8%)
<b>尿管狭窄</b>	1/17	( 5.9%)
<b>関節炎</b>	1/17	( 5.9%)



## 結語

- 17例中10例（59%）でCRを得ることができ十分な効果を得た。
- 腎温存せねばならぬ上部尿路上皮内癌症例に対してBCG 上部尿路灌流療法は有用である。
- しかし腎結核様肉芽病変など高度の副作用出現の可能性があるため、十分に注意し治療する必要がある。